

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 切り抜き新聞作成

国際理解や福祉、情報社会、科学技術など社会の諸課題を把握するとともに、解決のための方策を模索した。グループごとにテーマを設定させ、新聞を読み比べたり、班のメンバーで意見を出し合いまとめたりすることで、社会と自己を結びつけ、また他者へ向けて表現する活動を行った。作成した全作品を中国新聞「みんなの新聞コンクール」に応募し、その中から「どうする？空き家対策 in Hiroshima」が入選、「ドローンの光と影」が佳作にそれぞれ輝いた。また文化祭において全作品を展示し、広く一般に公開した。

[入選作品作成班代表者の感想]

今年度5月に「空き家対策特別措置法」が完全施行されるというニュースをきっかけに、地域の空き家事情に興味を持ち、この新聞を作りました。日本で増え続けている空き家の現状や問題点・法律・対策などを調べ、読む人に分かりやすく伝わるよう、テーマごとに色分けするなど工夫しました。空き家問題に関する記事はとても多く、一枚の紙面にどうまとめれば良いのか悩みましたが、今回受賞することができて嬉しいです。

この問題をまとめることで気づいたのは、「空き家バンク」などの制度はあっても利用が広まっていないこと、問題解決のためには国に任せるだけではなく地域住民が主体となり行動していくことが大切だということです。

日本では、高齢化・過疎化が進んでいると言われますが、私たちの世代こそが地域を見つめ地域の力になっていかなければならないと改めて思います。



入選作品作成班



文化祭での展示

② 詩のボクシング

豊かな言語感覚を育むとともに、自ら考え表現する手法を学んだ。生徒一人ひとりが主体的に詩の創作に取り組み、クラス代表が朗読する作品の選考や推敲をクラスメートと共同的に行うことを通して、協調性やコミュニケーション能力を身に付けた。



試合の様子

③ 読書会

社会の諸問題に関する新書のブックリスト(14冊)の中から各自関心のある一冊を選んで読了した。その後、要約と紹介文の作成を行い、グループ討議を行った。この一連の学習活動で、テーマに対して自分なりの考えを持ち、共有化する活動を行った。

[本年度の課題図書テーマ]

憲法、日本文化、
多様性・多文化理解、
社会構築、医療問題、
科学技術、情報・メディア



④ ディベート

六つの論題を設定して、生徒ひとりひとりに選択させ、肯定、否定に分かれディベートを行った。各班で情報収集を行うとともに論題に対する理解を深めるため、専門家の講義も受講した。社会的事象についての知識・理解を深め、幅広い視野から物事を科学的に捉え論理的に考える思考力・判断力や、資料を活用して自らの論を説得力のある根拠とともに相手に伝える表現力を身に付けた。

[本年度の論題]

- 「日本は死刑制度を廃止すべきである」
- 「日本は軽減税率を導入すべきである」
- 「日本は外国人労働者の受け入れを拡大すべきである」
- 「日本は二院制を廃止すべきである」
- 「日本は原発を廃止すべきである」
- 「日本は裁判員制度を廃止すべきである」



事前学習会

⑤ キャリア講演会，社会人講演会，小論文発表会

国際貢献をテーマにしたキャリア講演会、「社会と私」をテーマにした社会人講演会から学び、自分と社会との関わりについて分析・考察を試みた。その後、3学年は「社会と私」をテーマに小論文を完成させ、クラスで輪読後、優秀作品を学年全体の場で発表した。



キャリア講演会



小論文発表会

⑥ 国際交流

呉市の姉妹都市である米国ブレマトン市へ1名，オーストラリアに2名や台湾に1名が短期留学（夏期研修）し，その成果をポスターにまとめ，文化祭で発表した。3月には姉妹校へ3名の生徒が短期研修に向かう。



成果ポスター

⑦ 部活動

ブレマトン市からの夏期留学高校生に対し，茶道や書道など日本文化の紹介を行った。また，呉市国際交流協会による「第12回国際交流フェスタ in くれ」に生徒十数名が運営ボランティアとして参加し，日本文化の紹介や異文化体験等を行った。また，生徒5名が台湾の高校生との英語ディスカッションに参加し，活発に議論した。



